

2024年5月17日

第174号

発行：日本臨床検査技師連盟
 発行責任者：滝野寿・深澤恵治
 編集担当者：日技連事務局

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

- ◇第73回日本医学検査学会での情勢報告会について
- ◇第73回日本医学検査学会での広報ブースの活動について

第73回日本医学検査学会での情勢報告会について

去る、令和6年5月11日～12日、石川県金沢市で開催された第73回日本医学検査学会の最終日であった12日、日本臨床検査技師連盟情勢報告会を開催した。

情勢報告会は例年開催し、長沢光章代表が講演を行った。テーマは「日技連の活動報告」

講演の内容は、連盟の活動報告を中心に具体的な成果の報告を行った。



国会議員がいない現状について次の選挙に向けて候補者擁立する目標であったが、候補者選出まで至らなかった。1年後に通常選挙が予定される今、時間的に擁立は難しい状況である。引き続き検討していきたいとした。

組織の構築では、畦元将吾衆議院議員（診療放射線技師）との関係性を強化し診療放射線技師連盟とも共同で進めていく選挙支援体制を確立できた。

また、自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟(会長 衛藤征士郎衆議院議員)からは臨床検査の必要性について一定理解を得ており、今後の活動に強い体制ができた。

さらには、参議院中田宏議員を窓口として組織の構築ができたことは大きな成果であった。

○連盟会員の拡大について

連盟加入数が減少していることから、連盟の必要性をPRを行う今季目標7000口を達成するよう全国にPRし加入促進運動を進める。

来る7月で連盟役員改選になるが新体制でも継続していただきたい。とし、報告会を終了した。

第73回日本医学検査学会での広報ブースでの活動について

第73回日本医学検査学会 ANAクラウンプラザホテル3Fにおいて連盟ブースを設置し広報活動を行った。主に促進ビデオ上映、ポスター掲示、配布用クリアファイルに入れた加入依頼、振込用紙を準備した。



初日11日はたくさんの来場者があり、配布物約150名に積極的に配布した。

また連盟について質問を受け対応した。2日目は人通りも少なく約50名の配布になった。2日間合計で200名であった。今後は支部学会でも展開する。

衆議院島根1区補欠選挙の対応について

4月28日に衆議院島根1区補欠選挙の投開票が行われた。連盟として自民党公認候補錦織氏の推薦を行った。結果は残念ながら落選となりました。島根県支部長のご尽力に感謝申し上げます。



(小泉進次郎議員も応援に入った。左は島根県青戸支部長)